

長和町民話プロジェクト

# 伝承絵巻



メディアア  
十八番  
内田紗愛

コンセプト

# 長和の記憶を人から人へ

つなげる。

長和の良さは民話に詰まっています。  
今回、私が選んだ作品には人々が協力しあって神様を助ける内容が描かれていました。  
稲穂に夕顔の花、薬草に野菜、山道に行灯：  
現代人が忘れかけている、日本の古き良き情景が  
長和の民話にはたくさん詰めこまれていると感じました。  
そこで、長和が素敵な町であることを  
忘れて欲しくない、という想いから  
人から人へ伝承する形で絵巻物を制作しました。

民話

## 『明神様・八幡様と夕顔』

神様を助けようとする人々の温かさや優しさが感じられる内容と、  
長和の自然豊かな情景を画面全体に表現できるよう意識しました。  
彩色では秋の美しい色味を感じられるよう  
日本の伝統色を参考にしました。  
また、印刷は和紙の手触りに拘りました。

## 絵巻物の使い方

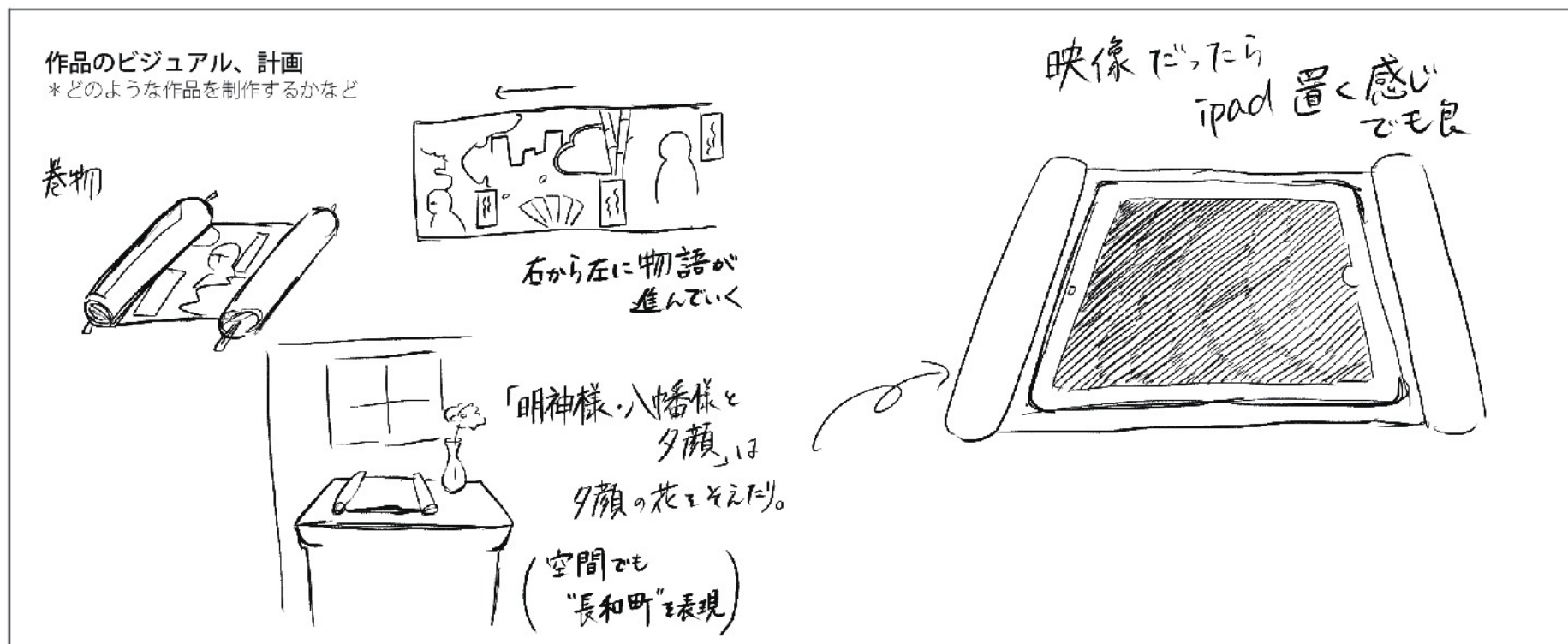
本作品は長和町に住む人からスタートし、  
読んだら他の人に渡していつてもらうようお願いします。  
渡す人間に規定はございません。  
どんな場所でも時でも構いません。  
知り合いでなくとも良いです。  
どんどんと違う人の手に渡り、  
場所を越え、時を超え、絵巻物は大冒険していきましょう。  
この大冒険こそ、民話の伝承になると考えています。

# 作品プロセス

右から左へ、手軽に読み進められるよう  
絵と文の配置を工夫しました。

絵巻物の見せ方について悩みましたが、  
巻物の形がリレーで使うボタンに  
似ているところに着目し、最終的には  
「人から人に渡すこと」で  
繋がりをを持たせる」作品になりました。

民話の内容に添い、  
自然と人々の温かみを全面に表現するため  
巻物自体は自身で材料を集め作り直しました。



コンセプト初期案



初期案ラフ画



線画



完成作品 (全体)